

## 学校情報

### ①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
東京医療秘書福祉 & IT 専門学校	昭和61年3月31日	増田 泰明	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6936
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は学校教育法に基づき医療、福祉及びIT情報デザインの関連分野に従事しようとする者に必要な知識と技能を教授し、それらの分野において専門的職業人となるべき人材を養成することを目的とする。			
沿革	<a href="http://www.sanko.ac.jp/about/history/">http://www.sanko.ac.jp/about/history/</a>		

### ②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
介護福祉科	2年	40人	80人
医療事務科	1年	32人	32人
医療秘書科	2年	80人	160人
医療AI科	2年	20人	40人
医療保育科	3年	40人	120人
診療情報管理士科	3年	40人	120人
くすりアドバイザー科	2年	32人	64人
WEBデザイン・IT科	2年	40人	80人
歯科アシスタント科	1年	40人	40人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
<p>本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。</p>	
介護福祉科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴や価値観が異なる相手の立場に立って共感でき、円滑なコミュニケーション力を持ち合わせた思いやりのある介護福祉士</li> <li>・生活の連続性を捉え、科学的な分析を以て、尊厳のある暮らしと自立を支えることができる介護福祉士</li> <li>・多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解し、リーダーシップをとることができる介護福祉士</li> <li>・人権擁護の視点、職業倫理を身に付けた介護福祉士</li> </ul>
医療事務科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。</li> <li>・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。</li> </ul>
医療秘書科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。</li> <li>・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。</li> </ul>
医療AI科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。</li> <li>・ITパスポート・情報セキュリティマネジメントの国家資格を保持し、医療現場で活かせるICTに関する知識を有する。</li> </ul>
診療情報管理士科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、情報活用に必要な高度なパソコンスキルを有する。</li> <li>・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。</li> <li>・チーム医療の中心的役割、及び、病院経営に貢献できる経営に関する知識を有する。</li> </ul>
医療保育科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士・幼稚園教諭の国家資格を保持し、且つ医療の専門的な知識を有し、保育・医療の現場において即戦力となる。</li> <li>・子ども保護者、同僚などの他者や社会と良好な関係を築く力を有し、的確なコミュニケーションを図ることができる。</li> </ul>
くすりアドバイザー科	<p>登録販売者資格を取得し、ドラッグストア・薬局・薬店等、薬業界において、即戦力としてお客様・患者様対応が出来る知識・技術を有する。</p>
WEBデザイン・IT科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBデザイナー、IT関連職種として、顧客の希望を理解し、対応するための基本的な技術・知識を有する。</li> <li>・企業の中での自分の役割を理解し、自ら課題を解決しようとする姿勢を有する。</li> </ul>
歯科アシスタント科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科助手、歯科医療事務の知識・技術を活かし、お客様、患者様の対応ができる。</li> <li>・歯科医院においてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。</li> </ul>

<取得可能な資格について>

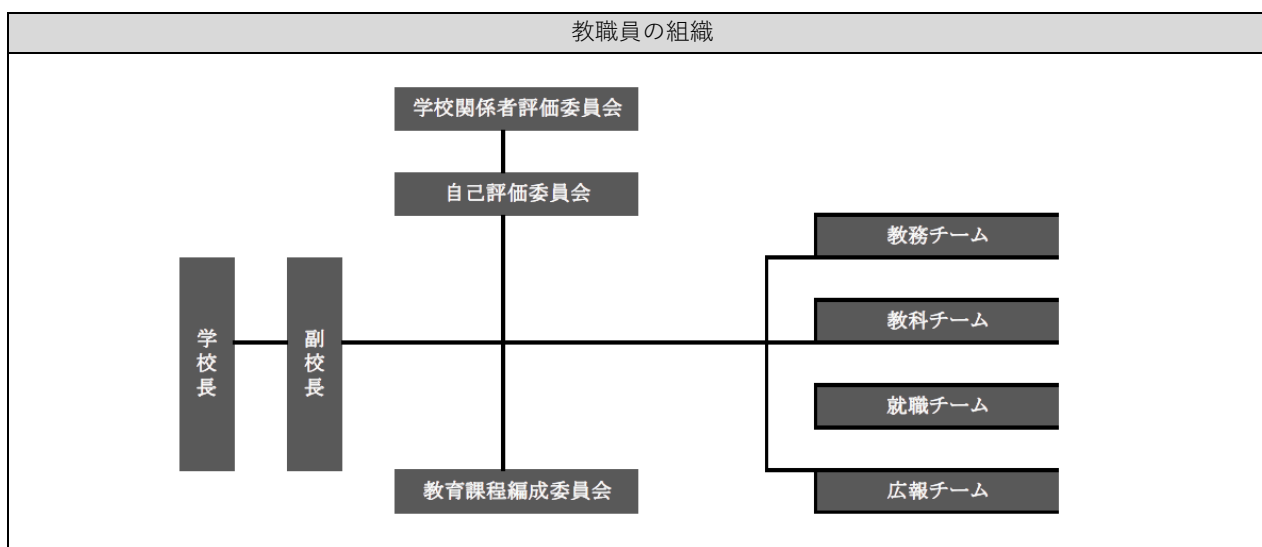
取得可能な資格	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/skill_introduction.shtml">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/skill_introduction.shtml</a>
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/jobdata.shtml">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/jobdata.shtml</a>
------	---

### ③教職員

専任教員	18人
兼任教員	56人
事務職員	7人



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
管 千里	医療事務 歯科事務	(財)日本医療保険事務協会認定診療報酬請求事務能力認定試験 日本歯科助手協会認定歯科助手検定1級 医療事務の会社に勤務後、現在は複数クリニックの診療報酬業務を担い（26年）現在に至る。
亀山 寿人	WEBデザイン・IT	NRIネットコム株式会社でSEとして勤務（3年）。その後フリーランスとして、システム開発をスポットで実施し現在に至る。
岡山 勝子	介護福祉	正看護師、介護支援専門員 国立病院医療センター（4年）、順天堂医学部付属順天堂医院（10年）にて看護師として勤務。ミアヘルサデイサービス中村橋にて非常勤職員として勤務（8年）、現在に至る。
成田 幸恵	保育	幼稚園教諭二種免許、保育士 幼稚園教諭として勤務（4年）、保育士として勤務（6年）、北京日本人幼稚園にて幼稚園教諭として勤務（1年半）、現在に至る。

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/support.shtml">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/jobdata/support.shtml</a>
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p>&lt;介護福祉科&gt;</p> <p><u>実習ⅠA</u>：1年次4日間（30単位時間） 通所介護・通所リハビリテーションでの実習を行う。利用者や施設職員とのコミュニケーションについて学ぶ。</p> <p><u>実習ⅡA</u>：1年次10日間（70単位時間） 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設での実習を行う。認知症や障害のあるご利用者に触れ、介護過程における情報収集ができるようになる。</p> <p><u>実習ⅡB</u>：1年次15日間（120単位時間） 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障害者施設での実習を行う。介護過程におけるアセスメントを行い、個別援助計画の立案方法について学ぶ。</p> <p><u>実習ⅠB</u>：2年次10日間（70単位時間） グループホーム・小規模多機能施設において、訪問介護の実習を行う。地域密着型施設や在宅で生活するご利用者を理解するとともに、多様なサービスについて学ぶ。</p> <p><u>実習ⅡC</u>：2年次20日間（160単位時間） 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設での実習を行う。介護過程における個別支援計画の実践と評価方法について学ぶ。</p>
	<p>&lt;医療秘書科&gt;</p> <p><u>医療機関実習Ⅰ</u>：1年次1週間（40単位時間）の体験実習を行う。 医療事務業務の全般を理解し、実務内容を学ぶ。</p> <p><u>医療機関実習Ⅱ</u>：2年次3週間（120単位時間）の体験実習を行う。 医療事務の業務の体験・実践を行い、今後の課題発見・就職活動・就職後につなげていく。いずれも自分たちが将来進むべき業界の理解と今後身につけるべき知識を理解し、今後の就職・学習につなげることを目的とする。</p> <p>学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていき、就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。</p>
	<p>&lt;医療AⅠ科&gt;</p> <p><u>医療機関実習Ⅰ</u>：1年次1週間（40単位時間）の体験実習を行う。</p> <p><u>医療機関実習Ⅱ</u>：2年次3週間（120単位時間）の体験実習を行う。</p> <p>いずれも医療医機関の現場を知ることで、学内の学習以外にも必要な知識・力があるということを理解する。自分たちが将来進むべき業界の理解と今後身につけるべき知識を理解し、今後の就職・学習につなげることを目的とする。</p> <p>学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていき、就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。</p>

<診療情報管理士科>

診療情報管理士病院実習：2年次3週間（120単位時間）の体験実習を行う。

医療医機関の現場を知ることで、学内の学習以外にも必要な知識・力があるということを理解する。また、自分たちが将来進むべき業界の理解と今後身につけるべき知識を理解し、今後の就職・学習につなげることを目的とする。

学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていき、就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

<医療保育科>

保育実習Ⅰ（保育所）：2年次保育所における実習（2週間・10日間以上）

教育実習Ⅰ：2年次幼稚園における実習（2週間・10日間以上）

保育実習ⅡまたはⅢ：3年次保育所における実習（2週間・10日間以上）

教育実習Ⅱ：3年次保育所における実習（2週間・10日間以上）

保育実習Ⅰ（施設）：3年次施設における実習（2週間・10日間以上）

いずれの実習も保育士・幼稚園教諭になるための基礎知識・実践的能力を身につけることを目的とし、実習中は担当教員が巡回を行い、実習の目的を果たせるような環境設定をしている。

学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていき、就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

<くすりアドバイザー科>

インターンシップ実習Ⅰ：1年次年間を通じて200単位時間の実践を最低ラインとし、基本は月80時間の実習を目標にドラッグストアでの実習を実施する。

インターンシップ実習Ⅱ：2年次年間を通じて160時間の実施を最低ラインとし、基本は月80時間の実習を目標にドラッグストアでの実習を実施する。

いずれの実習も登録販売者に必要な接遇や技術を実習を通して学ぶことを目的とする。長期に渡る実習のため、担当教員と実習先企業が密に連携を図り、訪問や課題発見等のケアを行っていく。2年次後期に実習先から取り組みに関する評価をもらい、学んだことについて論文として提出している。

<WEBデザイン・IT科>

IT業界においては今後一層の技術革新や発展が見込まれる分野であり、基礎技術とその応用技術をしっかりと身に着け、かつ長く業界で活躍することができ業界の発展にも繋がっていく人材を育てるために、実習実技の授業にも力を入れている。本校教育理念である「技能（知識・技術・理論）と心（人間教育・対人基礎力）の調和」をもとに60～80時間程度の現場実習を実施。授業にて企業による評価をもとに、振り返り・就職対策を行う。実技授業においては企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対する対応及び教育への反映をし、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。

<歯科アシスタント科>

臨床実習：1年次3週間（120単位時間）の体験実習を行う。

学校で学んだ事を、現場で実践する。また実習を行う事により、学内の学習以外にも必要な知識や技術があるということを理解する。また、業界の理解と今後身につけるべき知識を理解し、今後の就職・学習につなげることを目的とする。

学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていき、就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/schoolguide/year.shtml">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/schoolguide/year.shtml</a>
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者と共有を図り、連携体制を整えている。また希望者や要支援者に対しては、カウンセリングを行えるよう、スクールカウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/tokyo-med/guideline_2024/guideline_01.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/tokyo-med/guideline_2024/guideline_01.pdf</a>
就学支援	<a href="https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/guidelines/">https://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/guidelines/</a>

⑧学校の財務

事業報告書	<a href="https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf">https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf</a>
-------	---